

米国いいなりで 9条破壊



安倍政権が「平和安全法制」
の名で提出している戦争法案。
日本や国民を守ることはまっ
たく無関係です。憲法9条を全

面的に破壊する3つの重大問題
が浮き彫りになっています。

日本共産党

①後方支援 戦闘地域で米軍支援

戦争法案は、米国が世界のどこ
であれ、アフガン・イラク戦争の
ような戦争を起こした際、これま
で政府が「戦闘地域」と呼んでい
た場所まで自衛隊を派兵し、米軍
への軍事支援をできるようにする
ものです。

政府のいう「後方支援」=弾薬・
燃料の補給、武器・兵員の輸送、
壊れた戦車の修理などは国際的に
は「兵たん」と呼ばれます。攻撃
の一番の目標とされるのは軍事の
常識。自衛隊が「兵たん」してい
る場所が戦場になるのです。

②PKO法改定 「殺し、殺される」危険

この法案は、形式上「停戦合意」
がされているが、なお戦乱が続い
ている地域に自衛隊を派兵。治安
活動にとりくませ、任務遂行のため
の武器使用を認めるものです。

アフガニスタンの国際支援部隊
(ISAF) のような活動に参加する可
能性があります。ISAFは米軍主導
の「対テロ」掃討作戦と渾然一体

となり、2001年からの13年間で
3500人ももの戦死者が出ました。自
衛隊員が「殺し、殺される」危険は
格段に高まります。

軍事支援をした
自衛隊員は…

	自殺者数
アフガン	27人(海自)
イラク	21人(陸自)、8人(空自)

米軍兵士は…60万人がPTSDに。
1日平均22人 年間8000人が自殺

戦争法案 3つの大問題 日本を海外で「戦争する国」に

③集团的自衛権

米の無法な戦争 に参戦



米海兵隊との共同演習で射撃訓練をする陸上自衛隊員

日本への武力攻撃がなくても、
集团的自衛権を発動し、自衛隊
が海外での武力行使に乗り出すこ
とになります。

日本政府は、米国の無法な侵略戦争だったベトナム・イラク戦

争を支持しましたが、今なお誤りを認めず検証もしていません。

米国いいなりで無法な戦争に参戦・支援する——ここに集团的自衛権行使の一番の現実的危険があります。

国連での米国非難決議に日本政府は…

	1983年	1986年	1989年
非難決議 グレナダ侵略	賛成 108 反対 9 棄権 27 日本は「棄権」	非難決議 リビア爆撃	賛成 79 反対 28 棄権 33 日本は「反対」
非難決議 パナマ侵略	賛成 75 反対 20 棄権 40 日本は「反対」		

戦争準備でなく

9条生かした平和の外交を

日本共産党

いま必要なのは戦争の準備
ではありません。憲法9条を生
かした平和の外交です。北東ア
ジアには緊張や紛争の火種が
ありますが、それに軍事で構え
に陥るだけです。

日本共産党は、東南アジアで
実現している“紛争を話し合い
で解決する枠組み”を北東ア
ジアにも拡大する「北東アジア
平和協力構想」を提唱。北朝鮮
の核問題も関係6カ国の協議で
解決するしか方法はありません。